

社会科部門

総評
今年はおリンピックが開催され、入賞には至らなかったもののおリンピックに関係する作品が目立ちました。また、前回取り組んだテーマを発展させ、さらに自分の興味を追求する作品も多く見られました。自由研究は好奇心を持って調べ、考えることが大切です。楽しく研究できそうなテーマを見つけ、自分なりの発想で研究を進めてみましょう。

文部科学大臣奨励賞

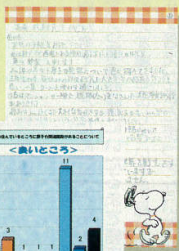
原子力発電について

兵庫県 須磨浦小学校 5年
奥住 絵梨

昨年の第21回において「子どもの文化 教育研究所理事長賞」を受賞した絵梨さんですが、今年はさらに「原子力発電」について深く研究をしています。原子力に関する新聞記事を切り抜き、熟読した上でしっかりと自分の意見や感想を述べていて、わからない内容があれば、実際に電力会社や有識者に問い合わせるなどして理解するまで調べる姿勢は高く評価できます。今年は、原子力に関する施設に最も近い小学校の皆さんにアンケートをとったり、「発電」について大学教授に質問したりなど、自分が抱いた疑問に対して素直な行動を起こしています。また、実際に原子力発電関連施設を訪ね自分の目で見て感じることで、その知識をさらに深め、研究の内容を非の打ち所のないものにしていきます。これは、「アンケート編」「体験編」という内容でわかりやすくまとめられており、作品の構成としても良いです。大学教授からの質問に対する回答の冒頭に「ご丁寧なすばらしいお手紙をありがとうございます」という大学の学生が書く手紙よりもっとすばらしい手紙です。という一文があり、絵梨さんのこの研究に対する丁寧な取り組みや礼儀正しさなども垣間見えます。総括では、研究のまとめとして原子力発電に関して国がこう動いてほしい。国民ももっと勉強をしなければいけない。という絵梨さんからの提案がされています。自分の意見をしっかりと持ったすばらしい作品です。今後の絵梨さんの活躍を期待します。



これだけの量からも
意気込みが
伝わってきます。



手紙を書く力、アンケートを
まとめる力にも磨かれました。

子どもの文化・教育研究所 理事長賞

都市型水害に負けない街づくり

東京都 白百合学園小学校 6年
平山 史歩

前回「優秀賞」を受賞した「東京豪雨って何?」では、豪雨の原因がヒートアイランド現象と3方向からの海風であることを知りました。今年のお史歩さんの作品は、このテーマからもう一歩踏み込んで「ヒートアイランド現象を防ぐための“緑”“水”“風”の利用、水害への取り組みなどをレポートしています。身近な範囲で実験を行ったり、都庁への取材や雨水管トンネルの見学に行ったりと、既存のデータや情報だけに頼らない実践的・体験的な研究になっています。また、それらをもとに丁寧に分かりやすくまとめ、さらには「水害理解度チェック」のおまけを設けるほどの余裕も見られます。お史歩さんの研究に対する熱意と自信がうかがえる、完成度の高い作品に仕上がっています。



きれいな表紙でつい手に
取りたくなる作品です。



積極的に実験や見学をしている
様子が伝わってきます。

日本社会科教育学会 会長賞

道の電車 世田谷線〜私の町を調べて〜

東京都 白百合学園小学校 3年
関 菜々美

世田谷線が菜々美さんの町にとって重要な役割を果たしているところに着目した菜々美さんは、自らの足を使って各駅の状態や歴史について調べています。そして、他の電車と世田谷線の違いをバリアフリーの観点からも観察しています。豊富な情報の収集と菜々美さんのやさしさを感じられる作品です。



さまざまな視点で
とても楽しいようー



中央出版株式会社 社長賞

伏見の水と酒

京都府 京都市立藤ノ森小学校 5年
青木 真央

真央さんは、発酵がお酒をつくるうえで重要な役割を果たしているのでは、ということに着目しています。そしてパンを地下水和水道水そしてミネラルウォーターの中において腐り方の違いを比較しています。調べただけでなく、読み手である第三者を納得させる作品です。

